

## ヒロオビミドリシジミ

兵庫県：C

*Favonius cognatus latifasciatus*

環境省：—

### 種の概要

前翅長18～21mm程度。翅の表面は♂では金属光沢をもった青緑色、♀では褐色で、前翅に黄白色の斑紋を有する。裏面は灰白色で、後翅には尾状突起があり、W字形の白色条を備える。低山地の落葉広葉樹林に生息し、幼虫はナラガシワを食べる。年1化性で、成虫は6月～7月に出現する。



写真提供：刈田悟史

### 国内分布

本州

### 県内分布記録

川西市、猪名川町、姫路市、相生市、たつの市、宍粟市、上郡町、

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		

### 特記事項

BランクからCランクに変更

西播磨地域を中心に但馬、阪神地区の旧23市町に分布していたが、1980年代に急激な減少があり、2000年代になると西播磨の一部地域以外ではほとんど見られなくなった。ナラガシワが混交する林床の明るい二次林が、常緑樹の成長や植林などで狭められてきたが、生息地の個体数は比較的安定している。

### 保護上の留意点